

共同生活援助（グループホーム）



グループホームではコロナウイルス感染対策として、三密を避けての活動、除菌の徹底等、対策を続けています。その為外出活動を控えていますが、感染状況を見て実施できる活動を日々話し合っています。少人数で活動する等の対策をとりながら食事会や買い物も実施しています。また、映画鑑賞やストレッチ、カラオケ等、室内で楽しめる活動も充実できるよう工夫しています。4月にはマイクロバスで車内から桜の花を楽しみました。今後もコロナウイルス感染対策を行いながら、楽しみを増やして充実したグループホーム生活が送れるようサポートしていきます。

（サービス管理責任者／入江）

看護師より

コロナウイルスは一般的には①飛沫感染、②接触感染、③エアロゾル感染で感染します。感染を予防するためには手洗い、うがいなどの基本的な感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、「3つの密」を避けること等が重要です。自己のみならず、他人へ感染させないように徹底することが必要です。当施設でも引き続き咳エチケットや手洗い等の感染予防対策の徹底を行っていきます。ご家庭におかれましても健康管理に十分気を付けてくださいとお願い致します。

（看護師／平田）

新職員紹介

入職	氏名	コメント
1月	鈴木 みちよ	利用者様と沢山コミュニケーション取って笑顔でサポートして行きたいと思います。宜しくお願ひ致します。

お願ひ

現在、事業所内の除菌は古布を使用して行っております。ご家庭で不要となりましたシャツ・タオル類などがありましたら、お分け頂きたくご協力の程よろしくお願ひ致します。（綿の布団カバーやシーツ、Tシャツ、浴衣等も大歓迎です。）

リバティゆい Times

第19号 令和4年(2022年) 4月発行

社会福祉法人 親交会
リバティ・サポートセンターゆい
〒318-0034 高萩市高萩 45-1
TEL: 0293-23-6890
FAX: 0293-23-6897
E-mail: yui@liberty-w.or.jp



親交会はSDGsを令和4年3月1日に宣言しました。当法人の事業を通じたSDGsの達成に向けて、取り組みを実施していきます。

ご挨拶

日頃より、当法人の運営に際しご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、当事業所をご利用頂きありがとうございます。

新年度が始まり、早1ヶ月が経とうとしています。4月から新しくサービスを利用されている方も緊張せず笑顔で通所されており安心しております。

さて、新年度も引き続き感染防止に努めながらのサービス提供となります。そんな中でも利用者様に楽しく通所して頂くため、各サービスで色々なアイディアを出し合い、どう提供するか考えておりますのでご期待ください。また、SDGs（持続可能な開発目標）にも取り組み、福祉の発展と増進を目指し宣言書を掲げました。「管理体制の構築」「地域社会への貢献」「環境への取組」「働きやすい職場作り」の4点を実施していくことを宣言します。

今年度も利用者様に笑顔で楽しく通所して頂けるように体力維持と精神安定を目指し様々な取り組みを実施して参りますので宜しくお願ひ申し上げます。

リバティ・サポートセンターゆい
センター長 井坂 正子

ご挨拶

コロナウイルスの感染が拡大して2年経ちました。「どうしたら利用者様に楽しみを提供できるか?」と各サービスの職員が、「いまできることはなにか?」を考えながら支援を考え、無事に乗り越えた1年でした。

また、今年もコロナウイルスが終息することは難しい1年になりそうです。その中でも利用者様が毎日「ゆい」へ楽しく安全に通所できることを念頭において職員一丸となって支援していきたいと思います。

今年度は、新規利用者様が3名加入して賑やかな4月を迎えております。利用者様1人ひとりの潜在的にもっているパワーや個性、得意分野を引き出し、伸ばしていきたいと思います。今年度もよろしくお願い致します。

サービス管理責任者 加藤 裕子

【利用者様及びご家族様へのお願い】

コロナウイルス「オミクロン株」感染が全国各地で流行しております。「オミクロン株」は全国で猛威を振るい、感染拡大に歯止めがかからない状況です。利用者様が今まで通り通所できるよう当施設も万全を尽くしますが、利用者様及びご家族の皆様におかれましてはコロナウイルス感染を防止する基本の徹底(三密の回避、手洗い、マスク着用、アルコール消毒、不要不急の外出自粛など)を引き続き実施して頂きますようご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

活動の様子

就労継続支援B型



就労継続支援B型は現在25名で活動をしています。作業としては谷沢製作所様の取扱組合せ・ヘルメット部品の組立作業等を行っています。また近隣のゴルフ場でボール拾い・ボール磨き・コース穴埋めの外部作業も行っています。そして昨年より農作業を始め、ゆい敷地内・島名にある畑、そして新たに秋山にも畑を借りて野菜栽培に力を入れています。島名の畑にある無人販売所もお客様から好評をいただいております。不定期での販売となります。みんなで育てたおいしい野菜をぜひご賞味いただけすると幸いです。令和4年度も利用者様に寄り添い、それぞれの目標に近づいていただけるよう日々サポートしていきます。

(生活支援員／馬渕)

自立訓練(生活訓練)



今年に入り、雑巾づくり100枚を目標に全員で手縫いを行いました。3月初旬には目標を達成し、利用者様は達成した喜びを味わえたと感じています。今年度は利用者様4名で活動します。身辺自立、学習、運動や制作活動を行っていきます。身辺自立ではご自宅で行えるように洗い物、掃除、洗濯を中心に行っていきます。運動は季節を感じながらの散歩や利用者様に合わせたトレーニングを取り入れていきます。制作は目標を設定して達成感を味わえるような活動を取り入れていきます。楽しく明るく活動できるように支援していきます。

(生活支援員／鈴木(敬))

生活介護



生活介護は4月から新規利用者様が増え10名での活動になりました。全体活動とは別に個々の能力・特性に合わせた活動を行い、利用者様の能力・特性では新しい発見がいくつもあります。利用者様の楽しみにつながるよう心掛け支援をします。継続している運動で身体機能の向上が見られ、生活介護独自の体力測定を行うことができました。できないと決めつけるのではなくどうしたらできるかを考え実行し、明るく元気に活動できるように支援していきます。

(生活支援員／柴田)